

TP 4 (映像 9)

- 練習問題（文節相互の関係を調べる）
- 1、彼はよく知られた詩人だ。
  - 2、すずしい風が花のにおいを運ぶ。
  - 3、すぐれた作品がいっぱいある。
  - 4、新しく付けかえた電燈がたいへん明るい。
  - 5、あそこに見える建物がぼくの学校だ。
  - 6、庭先のかえでが実に見事に紅葉した。
  - 7、ぼくの家は、バスの停留所から五分ぐらいのところにある。
  - 8、春の海はたいへんおだやかだ。

は基本文型のどれに相当しますか。

P. ○番です。

「美しい花が」が主語で、「たくさん咲いた」が述語です。

T. そうですね。「美しい花が」は「○○が」にあたるので主語に相当し、「たくさん咲いた」は「○○する」にあたるので述語に相当しますね。

T. このような「○○が」にあたる連文節を主部と言い、「○○がどうする」にあたる連文節を述部と言います。

TP 3-4 を重ねる。 (映像 8)

T. また、「花が」は単独では主語と言い、「咲いた」は、その主語を受ける述語と言うことになります。

※

TP 3-4 の「花が」と「咲いた」の左側にぼう線を引き、そのわきにそれぞれ主語、述語と書き入れる。

T. それでは、プリントの練習問題をやってみましょう。

T. できましたか。

TP 4 を提示する。 (TP 4 に TP 4-1 <クリアシート> を重ねる。

T. ○君、前にでて、一番の問題をやってください。

※みんなで検討する。以下、8番の問題まで同じ方法ですすめる。

わからないときは、基本文型をよく見せて考えさせる。